

平成31年（令和元年）度 大阪府立芦間高等学校 学校教育自己診断
アンケートの集計結果に対する見解

◎ 調査概要

- (1) 実施日 11月22日（金）～12月13日（金）
- (2) 実施方法 回答方式 マークシート方式
生徒 期間中のLHRの時間に一斉実施
保護者 期間中に生徒に持ち帰らせ、回答後生徒経由で回収
教員 職員会議において一斉実施
- (3) 回答数 生徒 1年231人（242人中）、2年239人（243人中）、3年221人（234人中）、
合計691人（719人中）（回収率97.1%）
保護者 213人（242人中）、2年207人（243人中）、3年174人（234人中）、
合計594人（719人中）（回収率82.6%）
教員 61人（63人中）（回収率96.8%）

◎ 集計結果に対する見解

各設問に対して「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」「わからない」の5つの選択肢から回答を選ぶ形式でアンケートを実施した。「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた割合を「肯定率」として、判断の基準とした。

	校長		令和元年度					肯定的	否定的	
	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			よくわからない
生徒	25	校長先生の話は、分かりやすい。	1年	13.9%	26.4%	13.9%	10.8%	35.1%	40.3%	24.7%
			2年	8.4%	32.8%	21.0%	8.8%	29.0%	41.2%	29.8%
			3年	15.4%	27.1%	16.7%	10.9%	29.9%	42.5%	27.6%
			全体	12.5%	28.8%	17.2%	10.1%	31.3%	41.3%	27.4%

前年度から肯定率が15ポイント上がった。今年度から新校長が赴任し、話の内容が変わったことも影響していると思われる。今後、生徒の状況を把握し、改善に努めたい。

教員	1	夏期閉庁日や一斉退庁日など芦間高校は働き方改革を意識した取り組みを実践している。	人数	19	22	9	9	1	41	18
			百分率	31.7%	36.7%	15.0%	15.0%	1.7%	68.3%	30.0%

社会全体で働き方改革が求められる中、本校においても夏期閉庁日を8月中旬に1週間設け、また、週1日極力超過勤務をしない全校一斉退庁日を設けている。ここ数年、超過勤務の平均、人数ともに減少しており、一定の成果がみられる。

	校長・教頭		令和元年度					肯定的	否定的	
	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない			よくわからない
生徒	1	芦間高校に入学して良かった。	1年	38.7%	43.0%	6.5%	4.3%	7.4%	81.7%	10.9%
			2年	27.3%	46.2%	14.3%	3.4%	8.8%	73.5%	17.6%
			3年	34.4%	43.4%	8.1%	5.0%	9.0%	77.8%	13.1%
			全体	33.4%	44.3%	9.7%	4.2%	8.4%	77.6%	13.9%
保護者	1	子どもは芦間高校に入学して良かったと言っている。	1年	50.2%	32.9%	8.9%	2.8%	5.2%	83.1%	11.7%
			2年	42.5%	38.6%	10.1%	3.9%	4.8%	81.2%	14.0%
			3年	39.7%	43.1%	9.2%	4.0%	4.0%	82.8%	13.2%
			全体	44.4%	37.9%	9.4%	3.5%	4.7%	82.3%	13.0%
教員	2	生徒たちは芦間高校に入学して良かったと言っている。	人数	19	29	6	1	6	48	7
			百分率	31.1%	47.5%	9.8%	1.6%	9.8%	78.7%	11.5%

概ね、「芦間高校に入学して良かった。」と感じているのは喜ばしいことである。特に、3年生が2年次の値より増加していることが特徴的である。一方、1割程度、否定的な生徒もおりその原因を探り、対応を検討していきたい。

生徒	2	芦間高校の授業は、わかりやすい。	1年	5.6%	48.5%	29.9%	6.1%	10.0%	54.1%	35.9%
			2年	4.2%	43.5%	30.1%	10.5%	11.7%	47.7%	40.6%
			3年	10.0%	43.4%	27.1%	7.2%	12.2%	53.4%	34.4%
			全体	6.5%	45.2%	29.1%	8.0%	11.3%	51.7%	37.0%
保護者	2	芦間高校の授業はわかりやすいと言っている。	1年	8.0%	41.3%	31.0%	6.6%	12.7%	49.3%	37.6%
			2年	7.2%	52.7%	24.6%	7.7%	7.7%	59.9%	32.4%
			3年	10.9%	42.5%	24.7%	6.3%	15.5%	53.4%	31.0%
			全体	8.6%	45.6%	26.9%	6.9%	11.8%	54.2%	33.8%
教員	4	魅力ある授業になるよう、指導方法の工夫・改善を行っている。	人数	19	39	0	1	2	58	1
			百分率	31.1%	63.9%	0.0%	1.6%	3.3%	95.1%	1.6%

生徒、保護者ともに肯定率に変化はない。一方、教員は ICT 機器の活用等、指導方法の工夫、改善は行っていると考えており、その差は大きい。「わかりやすい」かどうかについては、求める学習レベルにもよるが、進路実現に向けて高いレベルの学習内容をわかりやすく伝える工夫が、更に必要と考えられる。

生徒	4	授業の予習復習・宿題・小テストの勉強など、家庭等での学習時間が以前より増えた。	1年	12.6%	25.5%	28.1%	24.2%	9.5%	38.1%	52.4%
			2年	10.9%	35.6%	28.0%	18.8%	6.7%	46.4%	46.9%
			3年	13.6%	34.8%	24.9%	16.7%	10.0%	48.4%	41.6%
			全体	12.3%	32.0%	27.1%	20.0%	8.7%	44.3%	47.0%
保護者	4	授業の予習復習・宿題・小テストの勉強など家庭等での学習時間が以前より増えたようである。	1年	10.8%	24.4%	30.5%	30.0%	4.2%	35.2%	60.6%
			2年	12.1%	32.4%	29.5%	22.2%	3.9%	44.4%	51.7%
			3年	16.7%	24.1%	31.6%	20.1%	7.5%	40.8%	51.7%
			全体	13.0%	27.1%	30.5%	24.4%	5.1%	40.1%	54.9%
教員	5	授業の予習復習・宿題・小テストの勉強など、家庭等での学習時間が以前より増えるように指導する。	人数	14	29	11	3	4	43	14
			百分率	23.0%	47.5%	18.0%	4.9%	6.6%	70.5%	23.0%

家庭学習については、増加したと感じている生徒が半数に満たない状況である。教員は学習時間が増える用の課題を設定しているが、学習状況に反映しない様子が見える。進学型総合学科をめざすうえで結果につながるように改善の必要がある。

保護者	10	家庭への連絡は、きめ細かく行われている。	1年	11.7%	42.7%	24.4%	10.8%	10.3%	54.5%	35.2%
			2年	21.3%	40.6%	21.3%	7.7%	9.2%	61.8%	29.0%
			3年	17.2%	37.4%	21.8%	10.9%	12.6%	54.6%	32.8%
			全体	16.7%	40.4%	22.6%	9.8%	10.6%	57.1%	32.3%
教員	11	家庭への連絡を、きめ細かく行っている。	人数	18	32	4	1	6	50	5
			百分率	29.5%	52.5%	6.6%	1.6%	9.8%	82.0%	8.2%
保護者	11	芦間高校は、保護者の相談に応じてくれる。	1年	15.0%	30.5%	10.8%	4.2%	39.4%	45.5%	15.0%
			2年	18.8%	37.7%	9.2%	3.4%	30.9%	56.5%	12.6%
			3年	16.7%	35.1%	8.6%	6.3%	32.8%	51.7%	14.9%
			全体	16.8%	34.3%	9.6%	4.5%	34.5%	51.2%	14.1%

生徒	14	先生は、生徒の意見をよく聞いてくれる。	1年	19.9%	40.3%	19.9%	10.8%	9.1%	60.2%	30.7%
			2年	9.7%	45.8%	24.8%	8.0%	11.8%	55.5%	32.8%
			3年	17.2%	37.6%	23.5%	6.3%	15.4%	54.8%	29.9%
			全体	15.5%	41.3%	22.8%	8.4%	12.0%	56.8%	31.2%
教員	15	教職員は、生徒の意見をよく聞いている。	人数	20	34	4	1	2	54	5
			百分率	32.8%	55.7%	6.6%	1.6%	3.3%	88.5%	8.2%

家庭連絡の肯定率はほとんど変わっていない。教員の立場からは特に連絡の必要がない生徒もいると思われるが、保護者はこまめな連絡を望まれる方も多しと考えられる。また、保護者の相談については、肯定率はやや増加した。SCへの相談件数も多く、要望にこたえつつあると考えている。

生徒からの相談については、2・3年生は昨年度の1・2年生と変化はあまりないが、1年生は昨年度の1年生からは肯定率が増加した。今年度は生徒からの担任等への相談するケースが多いと思われる。

生徒	16	国際理解、福祉ボランティア等について学習する機会がある。	1年	13.9%	36.8%	19.5%	8.7%	21.2%	50.6%	28.1%
			2年	8.8%	33.2%	32.8%	7.1%	18.1%	42.0%	39.9%
			3年	11.8%	22.2%	32.6%	8.6%	24.9%	33.9%	41.2%
			全体	11.4%	30.9%	28.3%	8.1%	21.3%	42.3%	36.4%
保護者	16	芦間高校は、国際理解・福祉ボランティア等の新しい教育課題について学ばせようとしている。	1年	12.7%	41.8%	11.3%	2.8%	31.5%	54.5%	14.1%
			2年	15.5%	38.6%	11.1%	3.4%	30.9%	54.1%	14.5%
			3年	14.9%	31.0%	13.2%	1.7%	38.5%	46.0%	14.9%
			全体	14.3%	37.5%	11.8%	2.7%	33.3%	51.9%	14.5%
教員	17	芦間高校は、国際理解、福祉ボランティア等の新しい教育課題について学ばせている。	人数	11	33	8	2	7	44	10
			百分率	18.0%	54.1%	13.1%	3.3%	11.5%	72.1%	16.4%

芦間高校では、毎年3月にオーストラリアへの語学研修に約20名が参加、海外修学旅行も実施している。今年度は、例年より希望者が多く、残念ながら、希望しながら参加できない生徒が多くいた。入学時から大きな行事の一つとして認識されているようである。また、11月に近隣の幼稚園と合同で防災訓練を実施したり、文化祭等で支援学校との連携も行っているが、こちらはボランティアとしての意識が薄いように感じられる。

生徒	21	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	1年	15.6%	41.6%	23.8%	10.8%	8.2%	57.1%	34.6%
			2年	6.3%	27.6%	38.1%	19.7%	8.4%	33.9%	57.7%
			3年	14.9%	31.2%	28.1%	10.9%	14.9%	46.2%	38.9%
			全体	12.2%	33.4%	30.1%	13.9%	10.4%	45.6%	44.0%
保護者	22	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	1年	16.4%	40.4%	16.4%	10.8%	16.0%	56.8%	27.2%
			2年	11.1%	44.9%	19.8%	8.7%	14.5%	56.0%	28.5%
			3年	19.0%	34.5%	21.3%	10.9%	13.8%	53.4%	32.2%
			全体	15.3%	40.2%	19.0%	10.1%	14.8%	55.6%	29.1%
教員	24	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	人数	6	19	20	15	1	25	35
			百分率	9.8%	31.1%	32.8%	24.6%	1.6%	41.0%	57.4%

創立18年目ではあるが、前身の守口北高校から40年以上が経過している校舎や設備の老朽化は否めない。安全面や授業への影響も考えると早急に予算措置が望まれている。

生徒	22	芦間高校のホームページは自分にとって必要な情報が得られるようになっている。	1年	13.9%	29.6%	18.3%	7.0%	31.3%	43.5%	25.2%
			2年	7.1%	29.3%	25.9%	12.1%	25.5%	36.4%	38.1%
			3年	14.0%	25.8%	23.1%	11.3%	25.8%	39.8%	34.4%
			全体	11.6%	28.3%	22.5%	10.1%	27.5%	39.9%	32.6%
保護者	23	芦間高校のホームページは、保護者にとって必要な情報が簡単に得られるようになっている。	1年	19.2%	43.7%	11.3%	3.3%	22.5%	62.9%	14.6%
			2年	24.2%	51.2%	9.7%	1.9%	13.0%	75.4%	11.6%
			3年	25.3%	40.2%	15.5%	6.9%	11.5%	65.5%	22.4%
			全体	22.7%	45.3%	12.0%	3.9%	16.0%	68.0%	15.8%
教員	25	芦間高校のホームページは、保護者や生徒にとって必要な情報が簡単に得られるようになっている。	人数	12	36	5	0	8	48	5
			百分率	19.7%	59.0%	8.2%	0.0%	13.1%	78.7%	8.2%

ホームページの情報については生徒よりも保護者の皆様に活用していただいていることが多い。特に、トピックで学校行事の様子を見ていただいたり、修学旅行の状況を見ていただいていることが多いと思われる。今後は、災害時の安否確認等にも活用したいと考えている。また、オープンスクールのアンケートから入学前の中学生が情報を得るためにアクセスしていることが多いようである。今後も、できるだけその時々に必要な情報をアップロードし、活用していただきたいと考えている。

生徒	23	芦間高校は、教育方針や経営方針を、生徒にわかりやすく伝えている。	1年	12.6%	34.6%	28.6%	6.1%	18.2%	47.2%	34.6%
			2年	4.6%	29.0%	32.8%	10.5%	23.1%	33.6%	43.3%
			3年	14.5%	23.6%	29.1%	9.5%	23.2%	38.2%	38.6%
			全体	10.4%	29.2%	30.2%	8.7%	21.5%	39.6%	38.9%
保護者	24	芦間高校は、教育方針や経営方針をわかりやすく伝えている。	1年	14.1%	47.4%	11.3%	4.2%	23.0%	61.5%	15.5%
			2年	13.0%	51.7%	12.6%	1.9%	20.8%	64.7%	14.5%
			3年	16.7%	39.7%	16.1%	2.9%	24.1%	56.3%	19.0%
			全体	14.5%	46.6%	13.1%	3.0%	22.6%	61.1%	16.2%
教員	26	芦間高校は、教育方針や経営方針を生徒や保護者にわかりやすく伝えている。	人数	7	31	12	1	10	38	13
			百分率	11.5%	50.8%	19.7%	1.6%	16.4%	62.3%	21.3%
保護者	15	芦間高校は、教育情報について、積極的に提供する努力をしている。	1年	15.5%	43.7%	11.3%	6.1%	23.5%	59.2%	17.4%
			2年	14.5%	52.7%	11.1%	1.0%	20.8%	67.1%	12.1%
			3年	19.0%	36.2%	12.6%	4.0%	27.6%	55.2%	16.7%
			全体	16.2%	44.6%	11.6%	3.7%	23.7%	60.8%	15.3%

昨年度より保護者の肯定率は増加したが、決して高いとは言えない。否定率も高くは無く、「よくわからない」という方が多い。やはり、様々な機会をとらえてわかりやすく伝えていく必要がある。

保護者	18	子どもは、家で学校の友達の話をよくする。	1年	41.8%	35.2%	13.6%	8.5%	0.9%	77.0%	22.1%
			2年	42.0%	34.8%	13.5%	8.2%	1.4%	76.8%	21.7%
			3年	37.9%	33.3%	14.9%	9.8%	3.4%	71.3%	24.7%
			全体	40.7%	34.5%	14.0%	8.8%	1.9%	75.3%	22.7%
教員	30	生徒は、学校に友達がいると言っている。	人数	23	27	3	1	7	50	4
			百分率	37.7%	44.3%	4.9%	1.6%	11.5%	82.0%	6.6%

家庭で学校の話をしていない生徒が多くなっていると言われているが、本校生については、比較的話をしているようである。特に1年生入学時、ピアサポート等による仲間づくりに取り組んでおり、その影響もあると思われる。ただ、否定的な回答も少なくなく、特に上級生に否定的な意見が多い。入学時のみではなく、継続的に取り組んでいく必要がある。

保護者	17	芦間高校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	1年	22.1%	43.2%	9.4%	2.8%	22.5%	65.3%	12.2%
			2年	18.8%	45.4%	9.2%	1.9%	24.2%	64.3%	11.1%
			3年	19.0%	48.3%	9.8%	2.9%	19.5%	67.2%	12.6%
			全体	20.0%	45.5%	9.4%	2.5%	22.2%	65.5%	12.0%

否定率が低く、「わからない」という回答が一定数あることを考えると、HR活動等を通しての学校の指導方針がある程度理解されているのではないかとと思われる。

生徒	24	先生は、責任を持って、授業やその他の仕事に当たっている。	1年	23.5%	39.6%	15.7%	3.9%	17.4%	63.0%	19.6%
			2年	12.2%	45.1%	20.7%	3.8%	18.1%	57.4%	24.5%
			3年	19.5%	34.5%	20.5%	4.5%	20.9%	54.1%	25.0%
			全体	18.3%	39.9%	18.9%	4.1%	18.8%	58.2%	23.0%

学年を追うごとに肯定率が減少し否定率が増加しているのは、反省すべきところである。「授業のわかりやすさ」への肯定的な意見が少なかったことも関連しているのではないかと思われる。学校の業務としては授業が最も重要であることを考えると、その点の改善が第一と考える。

保護者	19	芦間高校の学校行事や公開授業に参加したことがある。	1年	46.5%	31.5%	7.0%	14.6%	0.5%	77.9%	21.6%
			2年	46.4%	32.4%	5.8%	14.5%	1.0%	78.7%	20.3%
			3年	51.1%	25.3%	8.6%	13.2%	1.1%	76.4%	21.8%
			全体	47.8%	30.0%	7.1%	14.1%	0.8%	77.8%	21.2%

多くの皆様に参加いただいている一方、まったく参加いただけていない方も少なくない。公開授業（授業参観）については土曜日に開催し、参加していただきやすくなるよう努めてはいるが、その情報が伝わっていないということもよくうかがっている。各学年とも、昨年より若干ではあるが増加しているようであるが、さらに、開催の情報を確実に伝える努力をしていく必要がある。

教員	27	教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	人数	12	30	11	3	5	42	14
			百分率	19.7%	49.2%	18.0%	4.9%	8.2%	68.9%	23.0%
	28	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	人数	15	32	8	2	4	47	10
			百分率	24.6%	52.5%	13.1%	3.3%	6.6%	77.0%	16.4%
	29	芦間高校は、カウンセリングマインドを取り入れた生徒(生活)指導を行っている。	人数	18	32	4	1	6	50	5
			百分率	29.5%	52.5%	6.6%	1.6%	9.8%	82.0%	8.2%

「日常的に話し合っている」の肯定率が減少している。教員は多忙を極めており、業務を整理し、時間の確保が必要である。

生徒への指導については頭ごなしに指導せず、生徒個々の様子を見ながら、その生徒に適した指導に努めていると思われる

		教務	令和元年度						肯定的	否定的
番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	あてはまらない	よくわからない			
生徒	3	習熟度別による少人数展開の授業(1年英語数学等)は、自分の理解度に合っていて、内容がよくわかるようになった。	1年	18.6%	40.7%	25.1%	9.5%	6.1%	59.3%	34.6%
			2年	23.8%	39.3%	22.6%	5.4%	8.8%	63.2%	28.0%
			3年	19.5%	40.7%	20.8%	9.5%	9.5%	60.2%	30.3%
			全体	20.7%	40.2%	22.9%	8.1%	8.1%	60.9%	31.0%
保護者	3	習熟度別による少人数展開の授業は、考査後新しいクラス分けがあることなどの効果で、子どもの学習意欲はより高まったようである。	1年	14.1%	40.8%	23.5%	10.3%	11.3%	54.9%	33.8%
			2年	15.0%	46.4%	18.8%	6.8%	13.0%	61.4%	25.6%
			3年	19.0%	36.2%	20.1%	9.2%	14.9%	55.2%	29.3%
			全体	15.8%	41.4%	20.9%	8.8%	13.0%	57.2%	29.6%
教員	3	習熟度別による少人数展開の授業(1年英語数学等)は、生徒の理解度に合っていて、内容がよく理解でき	人数	25	25	2	3	6	50	5
			百分率	41.0%	41.0%	3.3%	4.9%	9.8%	82.0%	8.2%

生徒の肯定的な回答の割合が下がったが教員の肯定的な回答に変動はなく、習熟度別授業の効果はあると考えている。4月当初とクラス替えのタイミングで、生徒へのこの習熟度別授業への周知を来年度も願います。

生徒	5	成績については、テストの得点だけでなく、提出物など様々な面からの評価を受けている。	1年	26.0%	42.9%	12.6%	1.7%	16.9%	68.8%	14.3%
			2年	31.4%	44.4%	12.6%	3.3%	8.4%	75.7%	15.9%
			3年	29.0%	41.2%	14.0%	2.3%	13.6%	70.1%	16.3%
			全体	28.8%	42.8%	13.0%	2.5%	12.9%	71.6%	15.5%
保護者	5	成績については、テストの得点だけでなく、提出物など様々な面からの評価を受けているようである。	1年	28.6%	43.2%	6.1%	1.4%	20.7%	71.8%	7.5%
			2年	35.7%	50.2%	5.3%	0.5%	8.2%	86.0%	5.8%
			3年	28.2%	45.4%	7.5%	2.9%	15.5%	73.6%	10.3%
			全体	31.0%	46.3%	6.2%	1.5%	14.8%	77.3%	7.7%
教員	6	成績については、テストの得点だけでなく、提出物など様々な面からの評価をしている。	人数	46	12	2	0	1	58	2
			百分率	75.4%	19.7%	3.3%	0.0%	1.6%	95.1%	3.3%

肯定的な回答の割合が上がった学年もあり、評価方法については、伝わっているようである。4月当初に、評価についてを生徒へ周知してもらっていることの効果が出ていると思われる。科目担当への依頼を来年度もお願いしていく。JSの生徒の件もあるので、今後もプリントにして周知することをお願いする。

生徒	8	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行われている。	1年	29.0%	43.3%	16.5%	3.0%	8.2%	72.3%	19.5%
			2年	19.2%	46.9%	23.0%	5.0%	5.9%	66.1%	28.0%
			3年	11.3%	29.9%	31.2%	13.1%	14.5%	41.2%	44.3%
			全体	20.0%	40.2%	23.4%	6.9%	9.4%	60.2%	30.4%
保護者	8	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行われているようである。	1年	19.7%	39.9%	16.4%	3.8%	20.2%	59.6%	20.2%
			2年	29.0%	46.9%	12.1%	2.4%	9.7%	75.8%	14.5%
			3年	16.7%	32.2%	24.7%	8.6%	17.2%	48.9%	33.3%
			全体	22.1%	40.1%	17.3%	4.7%	15.7%	62.1%	22.1%
教員	9	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行っている。	人数	24	28	9	0	0	52	9
			百分率	39.3%	45.9%	14.8%	0.0%	0.0%	85.2%	14.8%

学年ともに肯定率が下がっている。芦間高校の選択指導は、進路決定に必要な科目を第一に考えているが、生徒の希望はそうではない場合が多いようである。生徒とよく話し合っ得できるような選択になるように努めたい。

生徒	9	芦間高校は選択科目が多く、自分の進路や興味に合わせて選べるところが魅力である。	1年	45.9%	39.0%	9.1%	1.3%	4.8%	84.8%	10.4%
			2年	35.7%	40.3%	13.4%	5.9%	4.6%	76.1%	19.3%
			3年	32.1%	43.4%	12.7%	5.0%	6.8%	75.6%	17.6%
			全体	38.0%	40.9%	11.7%	4.1%	5.4%	78.8%	15.8%
保護者	9	芦間高校は、選択科目が多く、それらを自分の進路や興味に合わせて選べるところが魅力である。	1年	43.2%	44.6%	4.2%	3.8%	4.2%	87.8%	8.0%
			2年	50.2%	40.1%	4.8%	3.4%	1.4%	90.3%	8.2%
			3年	42.5%	42.5%	6.3%	4.0%	4.0%	85.1%	10.3%
			全体	45.5%	42.4%	5.1%	3.7%	3.2%	87.9%	8.8%
教員	10	芦間高校は、選択科目が多く自分の進路や興味に合わせて選べるところが、魅力である。	人数	26	23	7	3	2	49	10
			百分率	42.6%	37.7%	11.5%	4.9%	3.3%	80.3%	16.4%

肯定的な回答の割合が上がった。進路、教務ともに連携して説明会等の計画を練り、保護者懇談で、保護者へルールなど周知していただいた効果であろうと思われる。最終調査の段階でかなり調整を行ったが、学年の協力で一人一人に対応ができた。今年度末に、科目選択のスケジュールをたてて、進路指導部、学年との早期の連携をはかる予定である。今後とも選択科目の設定、選択群配置の改良につとめていく。

		生徒指導	令和元年度								
	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的	
生徒	11	芦間高校の生徒指導の方針は、理解できる。	1年	14.3%	33.8%	23.4%	13.4%	15.2%	48.1%	36.8%	
			2年	8.0%	34.9%	31.9%	10.5%	14.7%	42.9%	42.4%	
			3年	12.7%	32.1%	24.0%	13.6%	17.6%	44.8%	37.6%	
			全体	11.6%	33.6%	26.5%	12.5%	15.8%	45.2%	39.0%	
保護者	13	芦間高校の生徒指導の方針は理解できる。	1年	19.7%	42.3%	9.4%	5.2%	23.5%	62.0%	14.6%	
			2年	18.4%	48.3%	7.7%	1.9%	23.7%	66.7%	9.7%	
			3年	15.5%	46.6%	11.5%	4.6%	21.3%	62.1%	16.1%	
			全体	18.0%	45.6%	9.4%	3.9%	22.9%	63.6%	13.3%	
教員	12	芦間高校の生徒指導の方針は、生徒や保護者に理解されている。	人数	14	26	6	3	12	40	9	
			百分率	23.0%	42.6%	9.8%	4.9%	19.7%	65.6%	14.8%	

生徒の肯定率 45.2% で数値だけを見ると高いとは言えないが、生徒指導という性質上やむを得ないとする。また、現在の生徒指導方針は落ち着いた学習環境を構築する上で最低限の方針だと考える。ただ、生徒も変化して否定率が増加しているため、頭ごなしの指導ではなく指導の必要性をしっかりと説明し理解させることが肝要である。

保護者の方の肯定率 63.6% は問題ないとする。

生徒	12	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会や豊かな心や人の生き方について考える機会がある。	1年	22.6%	45.7%	17.0%	3.0%	11.7%	68.3%	20.0%
			2年	10.9%	43.5%	27.2%	5.4%	13.0%	54.4%	32.6%
			3年	15.4%	41.6%	19.9%	5.4%	17.6%	57.0%	25.3%
			全体	16.2%	43.6%	21.4%	4.6%	14.1%	59.9%	26.1%
教員	13	芦間高校は、生命を大切に心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。	人数	21	30	5	3	2	51	8
			百分率	34.4%	49.2%	8.2%	4.9%	3.3%	83.6%	13.1%

否定率が 26.1% と大変高い。命の大切さについてはしっかりと学んでおり、問題事象も発生していない。しかし、社会のルールについて周辺住民や店舗からのクレームも多い。もう高校生なのだから、学校外の生活についての躰は家庭や小中学校での指導で身に付いているという既成概念にとらわれることなく、基本から学ばせる必要がある。

教員	20	芦間高校は、学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	人数	22	30	8	0	1	52	8
			百分率	36.1%	49.2%	13.1%	0.0%	1.6%	85.2%	13.1%
生徒	18	芦間高校生は、文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加している。	1年	61.9%	27.3%	7.4%	0.9%	2.6%	89.2%	8.2%
			2年	54.0%	33.9%	7.1%	2.1%	2.9%	87.9%	9.2%
			3年	40.3%	38.5%	10.9%	2.3%	8.1%	78.7%	13.1%
			全体	52.2%	33.1%	8.4%	1.7%	4.5%	85.4%	10.1%
保護者	20	芦間高校生は文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加しているようである。	1年	64.8%	28.2%	0.9%	1.9%	4.2%	93.0%	2.8%
			2年	64.7%	28.0%	3.9%	0.5%	2.9%	92.8%	4.3%
			3年	63.8%	28.2%	3.4%	1.7%	2.3%	92.0%	5.2%
			全体	64.5%	28.1%	2.7%	1.3%	3.2%	92.6%	4.0%
教員	21	芦間高校生は、文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加している。	人数	35	22	3	0	1	57	3
			百分率	57.4%	36.1%	4.9%	0.0%	1.6%	93.4%	4.9%

生徒、保護者ともに90%近い肯定率を得ており、今後ともこの水準を維持したい。

生徒	19	芦間高校生は、生徒会活動に関心を持って積極的に参加している。	1年	29.0%	35.5%	17.3%	4.3%	13.9%	64.5%	21.6%
			2年	15.5%	43.1%	24.7%	3.3%	13.4%	58.6%	28.0%
			3年	18.1%	27.6%	24.4%	9.5%	20.4%	45.7%	33.9%
			全体	20.8%	35.6%	22.1%	5.6%	15.8%	56.4%	27.8%
保護者	21	芦間高校生は生徒会活動に関心を持って積極的に参加しているようである。	1年	20.2%	30.0%	15.0%	4.7%	30.0%	50.2%	19.7%
			2年	16.4%	38.2%	11.6%	5.3%	28.5%	54.6%	16.9%
			3年	16.7%	26.4%	16.1%	5.7%	34.5%	43.1%	21.8%
			全体	17.8%	31.8%	14.1%	5.2%	30.8%	49.7%	19.4%
教員	22	芦間高校生は、生徒会活動に関心を持って積極的に参加している。	人数	14	27	17	2	1	41	19
			百分率	23.0%	44.3%	27.9%	3.3%	1.6%	67.2%	31.1%

肯定率は6割に達していないが、生徒総会の様子など見てみると積極的に参加している生徒は多いと思われる。ただ、否定的評価も3割程度いるので、まだ身近なものになっていないかもしれない。今後も継続して生徒会活動について生徒の代表である生徒会執行部から発信していく必要があると考える。

生徒	20	芦間高校生は、部活動に積極的に参加している。	1年	32.0%	37.7%	12.6%	7.4%	10.4%	69.7%	19.9%
			2年	23.7%	36.9%	21.6%	8.1%	9.7%	60.6%	29.7%
			3年	24.4%	36.7%	16.3%	5.9%	16.7%	61.1%	22.2%
			全体	26.7%	37.1%	16.9%	7.1%	12.2%	63.8%	24.0%
教員	23	芦間高校生は、部活動に積極的に参加している。	人数	14	37	6	3	1	51	9
			百分率	23.0%	60.7%	9.8%	4.9%	1.6%	83.6%	14.8%

生徒の肯定率63.8%は低いように感じるが、実際には70%以上は部活動に参加しているので、この結果とは別に、部活動加入率80%以上を目指していきたい。ただ、否定率の増加につれてアルバイトの許可申請が増加しており、その理由はほとんどが進学準備のためである。奨学金の問題がクローズアップされてから進学の金銭面に対する不安が増大している。学習面も生活面も悪影響があるので、保護者の理解を得たい。

進路指導		令和元年度							肯定的	否定的
番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない			
生徒	6	芦間高校は進路について考える機会が多い。	1年	69.7%	25.1%	2.2%	0.0%	3.0%	94.8%	2.2%
			2年	64.4%	28.5%	3.8%	0.4%	2.9%	92.9%	4.2%
			3年	34.8%	43.9%	10.4%	3.2%	7.7%	78.7%	13.6%
			全体	56.7%	32.3%	5.4%	1.2%	4.5%	89.0%	6.5%
保護者	6	芦間高校は進路について考える機会が多く設定されているようである。	1年	44.6%	36.2%	8.0%	2.3%	8.9%	80.8%	10.3%
			2年	35.7%	49.3%	5.8%	1.0%	8.2%	85.0%	6.8%
			3年	25.9%	40.2%	13.2%	5.7%	14.4%	66.1%	19.0%
			全体	36.0%	41.9%	8.8%	2.9%	10.3%	77.9%	11.6%
教員	8	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	人数	25	27	4	3	1	52	7
			百分率	41.7%	45.0%	6.7%	5.0%	1.7%	86.7%	11.7%

おおむね例年の通り、肯定的意見が高く問題はない。この状況を維持していくことが大事である。

3年生の保護者の満足度がやや低いのは、年々保護者と生徒のコミュニケーションが取れなくなっていることの表れでないだろうか。

生徒	10	奨学金制度についての情報は、十分に知らされている。	1年	14.3%	35.5%	22.9%	9.5%	17.7%	49.8%	32.5%
			2年	7.6%	33.6%	34.9%	10.1%	13.9%	41.2%	45.0%
			3年	17.2%	40.3%	22.6%	5.4%	14.5%	57.5%	28.1%
			全体	12.9%	36.4%	27.0%	8.4%	15.4%	49.3%	35.4%

奨学金については、日本学生支援機構の採用不採用の発表が例年より大きく遅れている影響が大きい。2年生の奨学金説明会を3学期に予定しており、そののちであれば状況は変わっていたのではないかとと思われる。

人権教育推進委員会			令和元年度						
番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的
生徒	17 人権について学ぶ機会がある。	1年	39.8%	46.3%	7.4%	1.7%	4.8%	86.1%	9.1%
		2年	21.8%	49.8%	15.5%	4.2%	8.8%	71.5%	19.7%
		3年	24.4%	46.2%	18.6%	3.2%	7.7%	70.6%	21.7%
		全体	28.7%	47.5%	13.7%	3.0%	7.1%	76.1%	16.8%
保護者	25 先生は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっているようである。	1年	19.2%	41.8%	9.4%	4.2%	25.4%	61.0%	13.6%
		2年	17.4%	45.9%	12.1%	2.9%	21.7%	63.3%	15.0%
		3年	22.4%	37.9%	9.2%	5.7%	24.7%	60.3%	14.9%
		全体	19.5%	42.1%	10.3%	4.2%	23.9%	61.6%	14.5%
教員	18 芦間高校は、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	人数	16	33	6	4	2	49	10
		百分率	26.2%	54.1%	9.8%	6.6%	3.3%	80.3%	16.4%
教員	19 芦間高校の教職員は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	人数	20	33	4	2	1	53	6
		百分率	33.3%	55.0%	6.7%	3.3%	1.7%	88.3%	10.0%

芦間高校では、① 各学年に沿ったテーマで取り組む人権 HR。② 全校単位で行う人権講演。 の2つを人権教育の取組の柱として、幅広いテーマで人権について学ぶ機会を設けている。

生徒の設問17については、肯定的な回答は76.1%で昨年同様70%を超えている。特に1年生では86.1%と高く、入学してからすぐに、人権に関する事柄を学んできた事の一定の成果と考えられる。ただし全体として否定的な回答が16.8%、また、「よくわからない」という回答が7.1%ある事に留意して、引き続き、差別を許さず、他人とのコミュニケーションを大切にして、相手の立場に立って、人を思いやることを育む教育を推進していきたい。

保護者の設問25については、肯定的な回答が61.6%で昨年の61.0%とほぼ同じ結果であった。特徴的なのは昨年同様「よくわからない」という回答が20%以上あり、今後さらに、PTAの諸会議や学年懇談会などの場で、人権に関する学校の取組をもっと知っていただくための活動を充実させていく必要がある。

来年度に向けて、1年生の早い時期から「いじめ」またはそれに類した行動につながらないような教育を取り上げて行くとともに、① 共生推進教室を設けている高校として、障がい者をテーマにした教育。② 在日韓国朝鮮人はもちろん、今後さらに、外国籍や外国にルーツを持つ人たちが増えていくだろうことを踏まえ、在日外国人との共生をテーマにした教育。③ LGBT等についての教育。を各学年で推進していきたい。

産社・総学調整委員会			令和元年度						
番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的
生徒	7 「産業社会と人間」や「総合学習」の授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになった。	1年	34.2%	45.0%	11.7%	4.3%	4.8%	79.2%	16.0%
		2年	27.6%	43.1%	18.0%	5.0%	6.3%	70.7%	23.0%
		3年	22.2%	43.4%	18.6%	5.0%	10.9%	65.6%	23.5%
		全体	28.1%	43.8%	16.1%	4.8%	7.2%	71.9%	20.8%
保護者	7 「産業社会と人間」の授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになったようである。	1年	14.6%	43.2%	17.4%	7.5%	17.4%	57.7%	24.9%
		2年	19.3%	44.0%	15.5%	7.2%	14.0%	63.3%	22.7%
		3年	11.5%	39.1%	16.1%	8.6%	24.1%	50.6%	24.7%
		全体	15.3%	42.3%	16.3%	7.7%	18.2%	57.6%	24.1%
教員	7 生徒は、「産業社会と人間」などの授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになっている。	人数	25	23	4	2	7	48	6
		百分率	41.0%	37.7%	6.6%	3.3%	11.5%	78.7%	9.8%

おおむね例年通りの結果であるが、2年保護者の肯定率が+19.2%と大きく増加している。

昨年、1年生の「産業社会と人間」の授業内容を整理したが、来年度以降も継続して実施していくことで肯定率80%をめざしたい。

また、2年生の「総学論文」は「進達探究」に切り替わる関係で、来年度以降の授業内容を一部変更する可能性が高い。今年度の取り組みを参考にしつつ、授業計画を今年度中に作成する。

「産業社会と人間」において ジョブカバリー→ピアサポート→未来のミカタ の流れは今後も継続していく。

		いじめ防止及び対策委員会	令和元年度								
	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的	
生徒	15	先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	1年	19.7%	30.6%	12.7%	3.5%	33.6%	50.2%	16.2%	
			2年	11.8%	31.9%	13.9%	5.9%	36.6%	43.7%	19.7%	
			3年	14.5%	24.4%	18.1%	5.0%	38.0%	38.9%	23.1%	
			全体	15.3%	29.1%	14.8%	4.8%	36.0%	44.3%	19.6%	
保護者	12	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる	1年	12.2%	21.6%	7.5%	3.8%	54.9%	33.8%	11.3%	
			2年	12.1%	29.5%	8.2%	1.0%	48.8%	41.5%	9.2%	
			3年	14.4%	26.4%	8.0%	4.6%	46.6%	40.8%	12.6%	
			全体	12.8%	25.8%	7.9%	3.0%	50.3%	38.6%	10.9%	
教員	16	芦間高校では、いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	人数	16	37	1	0	7	53	1	
			百分率	26.2%	60.7%	1.6%	0.0%	11.5%	86.9%	1.6%	

肯定率は高くはないが否定的な意見も少ない。「わからない」が最も多いのはいじめに直面することがあまりないからであると考えられる。しかしながら、見えないところで起こっている可能性もあり、日頃の指導により、生徒の意識を高め、未然に防ぐことで、否定的な意見を0に近づけるように努力したい。

		教育相談担当	令和元年度								
	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よくわからない	肯定的	否定的	
生徒	13	担任の先生以外にも、保健室や相談室等で、気軽に相談することができることを知っている。	1年	16.5%	30.3%	18.2%	16.9%	18.2%	46.8%	35.1%	
			2年	19.7%	37.7%	22.6%	9.2%	10.9%	57.3%	31.8%	
			3年	25.8%	33.0%	17.2%	8.6%	15.4%	58.8%	25.8%	
			全体	20.5%	33.7%	19.4%	11.6%	14.8%	54.3%	31.0%	
保護者	14	担任の先生以外にも、保健室や相談室等で、気軽に相談できることを知っている。	1年	16.4%	27.7%	12.2%	9.9%	33.3%	44.1%	22.1%	
			2年	21.3%	34.8%	11.1%	6.8%	26.1%	56.0%	17.9%	
			3年	30.5%	28.2%	8.6%	4.6%	27.6%	58.6%	13.2%	
			全体	22.2%	30.3%	10.8%	7.2%	29.1%	52.5%	18.0%	
教員	14	芦間高校は教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員にも相談することができる。	人数	26	29	2	2	2	55	4	
			百分率	42.6%	47.5%	3.3%	3.3%	3.3%	90.2%	6.6%	

芦間高校の中に、相談室や保健室という「相談できる場所」があることを「知っている」とする生徒が、30年度には65.2%で、令和元年は54.2%と減少している。特に1年生の減少率が大きい。全体としての生徒の認知率は下がっているが、保健室もカウンセリング室も、生徒の相談・不定愁訴などをうけるのに大変忙しく、決して「開店休業」の状態ではない。

カウンセリング室に関して言えば、「昼休みに教室にいれば」「昼食をとる場所がない」などの理由で、利用する生徒も多く、来室者の数はむしろふえている。おそらくは、「かなり強い不安やいづらさを感じている生徒」が継続的に利用し、他の生徒はあまり注意をはらっていないのではないかと考える。

「相談できる場所」の認知度を上げるために、「教育相談ニュース」の発行とともに、「担任からの紹介」を日常的に行っていく。